

平成 26 年 12 月 16 日

各 位

会 社 名 メディカル・データ・ビジョン株式会社  
代表者名 代表取締役社長 岩崎 博之  
(コード番号：3902)  
問 合 せ 先 取 締 役 柳 澤 卓 二  
管 理 部 門 長  
(TEL. 03-5283-6911)

### 東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成 26 年 12 月 16 日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、当社の当期の業績予想は以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきましては別添のとおりであります。

【単体】

(単位：百万円、%)

項目	決算期	平成 26 年 12 月期 (予想)		平成 26 年 12 月期 第 3 四半期累計期間 (実績)		平成 25 年 12 月期 (実績)		
			構成比	対前期 増減率		構成比		構成比
売 上 高		1,959	100.0	128.0	1,290	100.0	1,530	100.0
営 業 利 益		250	12.8	119.2	90	7.0	209	13.7
経 常 利 益		222	11.3	105.5	88	6.9	210	13.8
当期（四半期）純利益		162	8.3	79.2	41	3.2	204	13.4
1 株 当 たり 当期（四半期）純利益		173 円 05 銭		45 円 08 銭		226 円 45 銭		
1 株 当 たり 配 当 金		0 円 00 銭		0 円 00 銭		0 円 00 銭		

- (注) 1. 当社は子会社がありませんので、連結財務諸表は作成しておりません。  
2. 平成 25 年 12 月期（実績）及び平成 26 年 12 月期第 3 四半期累計期間（実績）の 1 株当たり当期（四半期）純利益は、期中平均発行済株式数により算出しております。  
3. 当社は、平成 26 年 9 月 10 日付で株式を 1 株につき 50 株の株式分割を行っております。上記では、平成 25 年 12 月期の期首に行われたと仮定して、1 株当たり当期（四半期）純利益を算定しております。  
4. 平成 26 年 12 月期（予想）の 1 株当たり当期純利益は、公募株式数（170,000 株）を含めた期中平均発行済（予定）株式数により算出しております。なお、当該株式数には、オーバーアロットメントによる売出しに関連する第三者割当増資分（最大 36,000 株）は含まれておりません。

以 上

ご注意：この文書は当社の新株式発行並びに株式売出しに関して一般に公表するための記者発表文であり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、必ず当社が作成する「新株式発行並びに株式売出届出目論見書（並びに訂正事項分）」をご覧ください。なお、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年12月16日

上場会社名 メディカル・データ・ビジョン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3902 URL http://www.mdv.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩崎 博之  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部門長 (氏名) 柳澤 卓二 TEL 03 (5283) 6911  
 四半期報告書提出予定日 - 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有・無  
 四半期決算説明会開催の有無: 有・無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第3四半期の業績 (平成26年1月1日～平成26年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	1,290	-	90	-	88	-	41	-
25年12月期第3四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	45.08	-
25年12月期第3四半期	-	-

- (注) 1. 当社は、平成25年12月期第3四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成25年12月期第3四半期の数値及び平成26年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。  
 2. 当社は、平成26年9月10日付で普通株式1株につき50株の株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。  
 3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権の残高はありますが、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年12月期第3四半期	1,450	1,172	80.8	1,254.17
25年12月期	1,333	1,094	82.1	1,209.71

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 1,172百万円 25年12月期 1,094百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00
26年12月期	-	0.00	-	-	-
26年12月期 (予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 有・無

3. 平成26年12月期の業績予想 (平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,959	28.0	250	19.2	222	5.5	162	△20.8	173.05

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有・無

2. 当社は、平成26年9月10日付で普通株式1株につき50株の株式分割を行いました。平成26年12月期 (予想) の1株当たり当期純利益は、当該株式分割が平成26年12月期の期首に行われたと仮定して算出した金額を記載しております。

3. 平成26年12月期（予想）の1株当たり当期純利益は、公募株式数（170,000株）を含めた期中平均発行済（予定）株式数により算出しております。  
 なお、当該株式数には、オーバーアロットメントによる売出しに関連する第三者割当増資分（最大36,000株）は含まれておりません。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有・無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有・無

② ①以外の会計方針の変更： 有・無

③ 会計上の見積りの変更： 有・無

④ 修正再表示： 有・無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年12月期3Q	934,950株	25年12月期	904,950株
② 期末自己株式数	26年12月期3Q	一株	25年12月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年12月期3Q	928,576株	25年12月期3Q	一株

- (注) 1. 当社は、第3四半期の業績開示を平成26年12月期より行っているため、平成25年12月期第3四半期の期中平均株式数（四半期累計）を記載しておりません。  
 2. 当社は、平成26年9月10日付で普通株式1株につき50株の株式分割を行っておりますが、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定その他関連事項については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(3) 追加情報 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第3四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、国内景気の回復の兆しがみられたものの、平成26年4月に実施された消費税率引上げの影響が懸念され、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社の主たる事業領域である医療関連業界におきましては、平成26年4月実施の診療報酬改定が実質マイナス改定となり、各医療機関は引き続き厳しい対応を求められております。

このような事業環境のもと、医療機関向けのパッケージ販売を主としたデータネットワークサービスにおいては、当第3四半期累計期間にてDPC分析ベンチマークシステム「EVE」の販売が43病院となり、累計導入数が690病院と、大規模なDPC実施病院のベンチマークデータを保有するにいたりました。機能面においては、係数指標メニューに「後発医薬品指数」の分析機能を追加しました。また、当第3四半期累計期間にて病院向け経営支援システム「Medical Code」の販売は23病院となり、累計導入数が125病院となりました。

主として製薬会社向けの臨床データ活用サービスであるデータ利活用サービスにおいては、診療データ分析ツール「MDV analyzer」の利用社数が、11社となり、売上を大幅に伸ばす事ができました。サービス利用の背景としては、製薬会社がマーケティング戦略に医療データベースを活用する動きが見え始めている事があげられます。当該サービスのデータベース規模は、153病院分のDPCデータを保持するに至り、データベースの規模と質において、製薬会社等から非常に高い評価を受けております。

これらの結果、当第3四半期累計期間の売上高は1,290,297千円となり、売上総利益は1,038,952千円となりました。

販売費及び一般管理費については、業容拡大に伴う人員増加や活動量の増加に伴う旅費交通費の増加等により、948,892千円となりました。その結果、営業利益については、90,059千円となりました。

営業外損益については、営業外収益として受取利息やセミナー収入を計上し、営業外費用として上場関連費用を計上したことにより、経常利益は88,356千円となりました。

特別損益については、固定資産除却損を743千円認識したこと、九州支店移転に伴う減損損失を3,154千円認識したことにより、税引前四半期純利益は84,457千円となりました。

法人税、住民税及び事業税を10,968千円計上し、法人税等調整額を31,633千円計上した結果、四半期純利益は41,856千円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期会計期間末の資産残高は、前事業年度末と比べて116,613千円増加し1,450,459千円となりました。

流動資産は、前事業年度末と比べて45,277千円減少し1,094,927千円となりました。これは、主に工具器具備品などの資産の取得により、現金及び預金の減少があったことによるものです。

固定資産は、前事業年度末と比べて161,891千円増加し355,531千円となりました。これは、工具器具備品の取得やソフトウェア仮勘定の計上、九州支店移転に伴う敷金の増加によるものです。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末の負債残高は、前事業年度末と比べて38,757千円増加し277,875千円となりました。

流動負債は、前事業年度末と比べて19,377千円増加し241,595千円となりました。これは、主に未払金が10,248千円、未払法人税が23,725千円それぞれ減少したものの、前受収益が39,181千円、買掛金が9,640千円それぞれ増加したことによるものです。

固定負債は、前事業年度末と比べて19,379千円増加し36,279千円となりました。これは、主にリース債務が13,977千円増加したことによるものです。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産残高は、前事業年度末と比べて77,856千円増加し1,172,583千円となりました。これは、利益剰余金が41,856千円増加したことや、新株予約権の権利行使により資本金が30,000千円、資本剰余金が6,000千円それぞれ増加したことによるものです。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月期の業績予想につきましては、平成26年10月14日付け「平成26年度業績見通しの修正」で公表いたしました予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正)

「所得税法等の一部を改正する法律(平成26年法律第10号)が平成26年3月31日に公布され、平成26年4月1日以後に開始する事業年度から復興特別法人税が課されないことになりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法廷実効税率は、平成27年1月1日に開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異については従来の38.0%から35.6%になります。

なお、この税率変更に伴う影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	779,232	694,571
売掛金	291,309	342,568
原材料	8,450	20,610
その他	61,212	37,176
流動資産合計	1,140,205	1,094,927
固定資産		
有形固定資産	76,037	147,505
無形固定資産	31,400	97,064
投資その他の資産	86,202	110,961
固定資産合計	193,640	355,531
資産合計	1,333,845	1,450,459
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	32,156	41,796
未払法人税等	25,973	2,247
その他	164,088	197,551
流動負債合計	222,218	241,595
固定負債		
資産除去債務	14,044	18,208
その他	2,856	18,071
固定負債合計	16,900	36,279
負債合計	239,118	277,875
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	350,800	380,800
資本剰余金	959,520	965,520
利益剰余金	△215,593	△173,736
株主資本合計	1,094,726	1,172,583
純資産合計	1,094,726	1,172,583
負債純資産合計	1,333,845	1,450,459

(2) 四半期損益計算書  
 (第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)
売上高	1,290,297
売上原価	251,344
売上総利益	1,038,952
販売費及び一般管理費	948,892
営業利益	90,059
営業外収益	
受取利息	168
セミナー収入	479
その他	21
営業外収益合計	668
営業外費用	
支払利息	52
上場関連費用	2,319
営業外費用合計	2,371
経常利益	88,356
特別損失	
固定資産除却損	743
減損損失	3,154
特別損失合計	3,898
税引前四半期純利益	84,457
法人税、住民税及び事業税	10,968
法人税等調整額	31,633
法人税等合計	42,601
四半期純利益	41,856



（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、平成26年2月28日付で新株予約権の権利行使による払い込みを受けました。この結果、当第2四半期累計期間において、資本金が30,000千円、資本準備金が6,000千円増加し、当第3四半期会計期間末において、資本金が380,800千円、資本剰余金が965,520千円となっております。